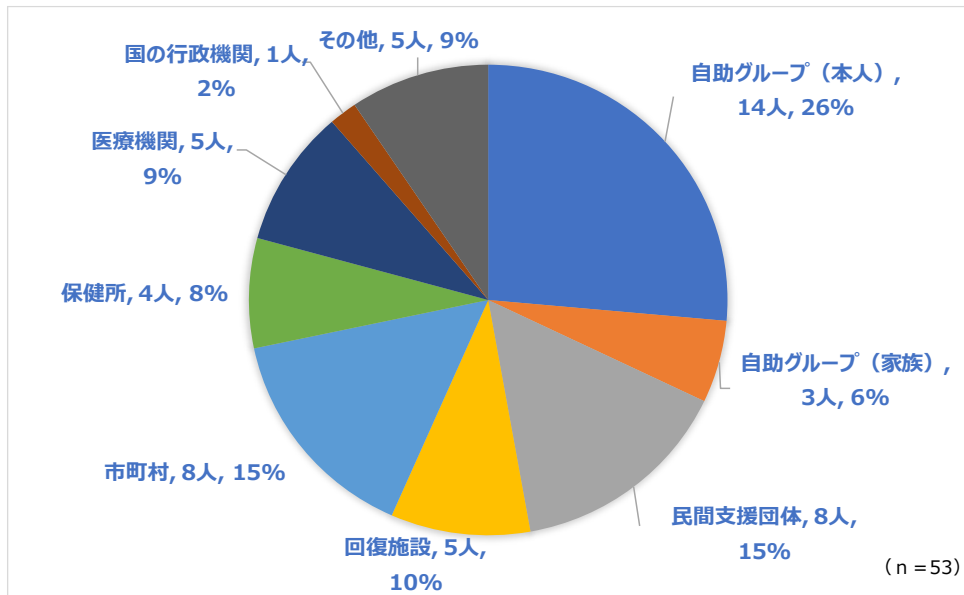


## 令和5年度 OAC 交流イベント報告

●開催日時:令和6年1月29日(月)10時~16時30分

●参加者数:53名(全日参加37名 午前のみ参加9名 午後のみ参加7名)

【参加者(53人)の属性】



アンケート結果 アンケート回答数:45(回収率 84.9%)

〔1〕参加した満足度

回答	回答数	割合
大変満足	35	78%
やや満足	9	20%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
無回答	1	2%
計	45	100%

〔2〕本日参加されて当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

回答	回答数
今まで知らなかった機関や団体、自助グループの人と知り合えた	33
すでに知っている機関や団体、自助グループの人との関係がさらに深まった	20
特に得るものはなかった	0
その他	3

[3]午前の部の感想 ※主なもの

- 依存症の方へのかかわり方を改めて学べた。
- 池田先生の講演会では、支援者として依存症患者へのかかわり方を知ることができたとともに、今一度、自分の支援方法を見直すきっかけとなった。司法書士会や病院さん等行政以外にも沢山の機関が参加されており、それぞれの業務内容を初めて知った機関もあったので、今後支援の中で連携していきたい。
- 大阪では、多くの依存症の支援をしてくださる機関があるなと思った。
- 内容がたくさんあったので、もっと詳しく聞きたいところがあった。
- 池田先生や各種団体で活動されているみなさまの熱い想いを感じた。

[4]午後の部の感想 ※主なもの

- このような交流会を複数回実施されることを希望する声が多かった。
- 体験談では、当事者がどのような経緯や気持ちで依存症と向きあってきたかがよくわかった。家族も相当な苦労をされていると知れ、家族への支援も大切だと改めて理解できた。
- 他の自助グループの方や支援者の方と話ができてよかった。体験談では依存症はどれも背景を知る必要があることが学べた。
- 自助グループの具体的な活動を理解していただけでよかった。
- 依存症に限ったことではないと思いますが、よく当事者は専門家と言われます。様々な依存症の専門家の話を聞く機会を得られてよかった。
- 当事者の思いはもちろん、家族の率直な思い、聞いてよかった。支援者はこれらの過程をふまえて支援することが大事と思った。
- 体験談に勝る学びはないと思った。
- グループワークは、依存症の種類はちがっても深いところは同じで、人とのつながりが一番大事。
- 支援者の方たち、他の自助グループの方たちとお話ができてよかった。
- 当事者の生の体験談はとても参考になった。それぞれ回復につながる段階があり、タイミングがあるのだと希望が持てた。

[5]全体を通しての感想 ※主なもの

- 普段あまりかかわりのない機関の方と交流、意見交換をすることができ、今後の支援時の連携に活かしていけると思った。
- このような場を行政で開催していただけることはとても参加しやすい。
- 色々な立場からの意見をきけてよかった。
- 多くの支援者の方々とつながることができたことが自分の回復につながった。
- 団体の紹介のリストがほしかった。
- 以前通院していましたと言ってくれる方が多く、医療機関も必要とされているんだと実感できた。対面でのイベント、顔が見える形で情報共有できてよかった。